

JBC

www.jbctools.com

製品
ウェブページ



取扱説明書



B.IRON DUAL 500

バッテリー型デュアル
はんだ付けステーション

本取扱説明書は下記製品に対応しています。

BISS-9B - デバイス型ディスプレイ付き
BISS-9QB - デバイス型ディスプレイなし

同梱物リスト

以下の品目が同梱されます。



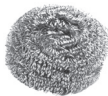
充電ホルダー組付け済み
充電スタンド 1個



C210カートリッジ 1個
Ref. C210001 (こて先φ 0.3 mm)



B.IRON用B.500グリップ...2個
Ref. B500-B
グリップ、B1596安全キャップ
OB4000 シール栓、B1510グリップ、
フィルター付属。



B.IRON充電スタンド用
真鍮タワシ 1個
Ref. CL0300
充電スタンドに組付け済み。



B.IRONディスプレイ
ホルダー 5 - 7インチ 1個
Ref. 0030723
固定ノブ付属。



USB-A to USB-Cケーブル**
..... 1個
Ref. 0032705



電源コード 1個
Ref. 0028103、100 V



B.IRON用デバイス型ディスプレイ 7インチ *
..... 1個
Ref. PDS-B

クイックスタートガイド 1個

取扱説明書 1個
Ref. 0035792

* Ref. BISS-9QAには未付属。

重要事項

本製品を使用する前に、本取扱説明書およびその安全に関するガイドラインをよくお読みください。



注:ディスプレイの電源を切ってカートリッジを取り外しても、ツールは、バッテリーが充電されている間まだ使用可能です。

ツールは、ディスプレイ上のツール電源ボタンをタップすることによって手動でオンオフを切り替えることができます (9ページ参照)。

ツールは、以下の条件でのみ自動的に電源が切れます。

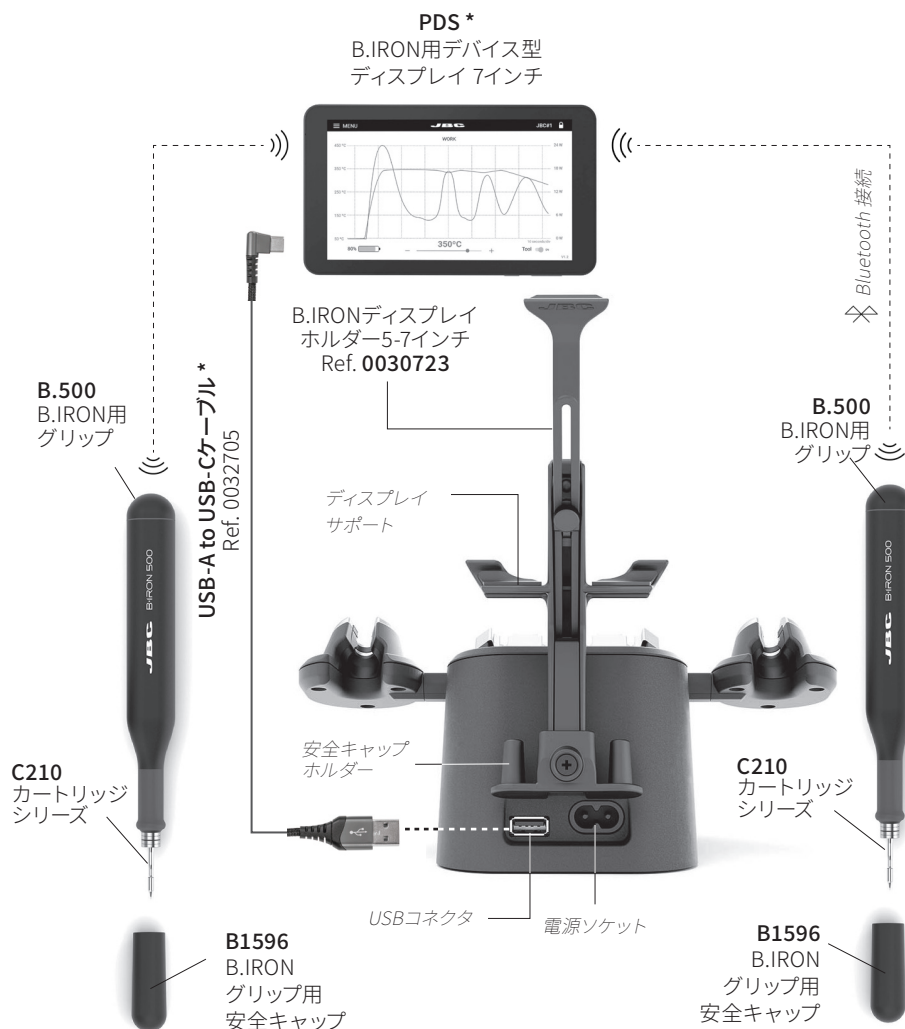
- ツールは充電ホルダーから外されて(安全キャップなし)、5分間完全に静止した状態 (8ページ参照)。
- ツールは安全キャップを付けられて、60分間完全に静止した状態(9ページ参照)。
- ツールは充電ホルダーに置かれ、充電スタンドは電源から切り離されています。

機能と接続



* Ref. BISS-9QAには未付属。

機能と接続



ESD安全接続

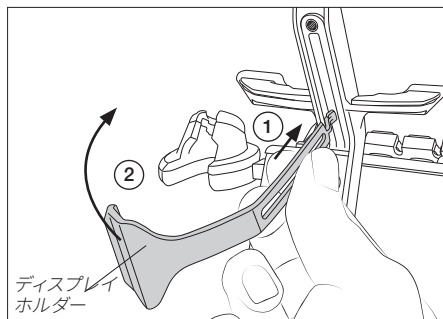
注:すべてのB.IRON部品はCE規格に準拠していますが、ツール自体は接地されていません。そのため、ESD規制に準拠するには、B.IRONツールのユーザーがESDに準拠した接地を行う必要があります。

JBCは、ESD対応のテーブルマット、アースケーブル、プラグ、およびリストバンドを用意しています。より詳細な情報は www.jbctools.com にアクセスしてください。

* ref. BISS-9QAには未付属

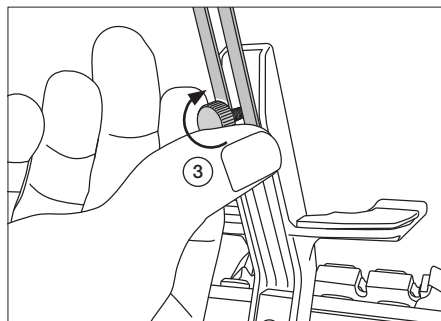
ステーションのセットアップ

1. ディスプレイホルダーの組付け



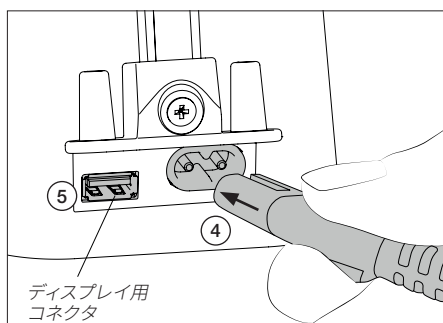
ディスプレイホルダーの細い端部を充電スタンドの後部レールの上部 (1) に挿入します。次にディスプレイホルダーを、垂直に立つまで90°回します (2)。

2. ディスプレイホルダーの固定



固定ノブ (3) を差し込み、所定の位置に留めますが、ディスプレイホルダーを動かせる程度に締めます。

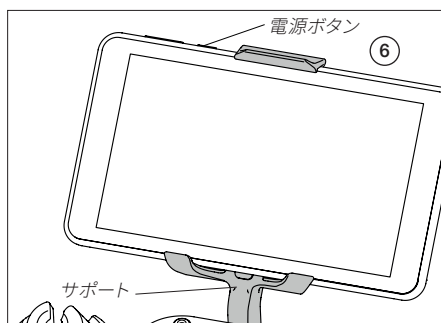
3. スタンドとディスプレイ接続



充電スタンドを電源 (1) に接続します。

付属のUSBケーブルでディスプレイをUSBポート (2) に接続すると、作業中に充電を続けることができます。

4. ディスプレイの設置



ディスプレイを、そのボタンを上向きにして (1) サポートに取り付けます。ディスプレイホルダーの高さを調整し、固定ノブを締めます。

電源ボタンをしばらく押して (1) ディスプレイをオンにした後、B.IRONアプリ*を開きます。

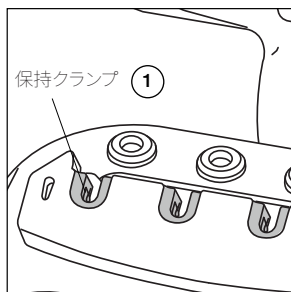


*注: アプリは、お客様のデバイスにダウンロードすることもできます。その方法については、「B.IRONアプリのインストールと更新」のセクションを参照してください。

ステーションのセットアップ (続き)

カートリッジ交換システム

交換システムは、C115およびC210カートリッジに対応しています。



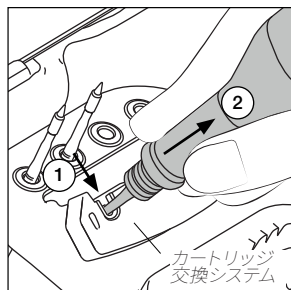
カートリッジ交換システムでは、ツールの電源を切らずにカートリッジを安全に挿入/交換することができます。カートリッジは、保持クランプ (1) により所定の位置に収納することができます。

C210カートリッジ

C210カートリッジの保持部は、こて先のカラーからカートリッジが広くなり始めるところまで (x) の部分です。

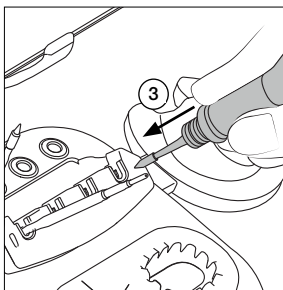


カートリッジの挿入



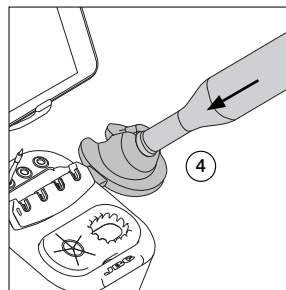
カートリッジの上にツールを置き、ツールを押し込んでカートリッジに挿入します (1)。挿入されたカートリッジをツールから取り外す場合は、ツールを上方へ持ち上げます (2)。

カートリッジの固定



カートリッジ交換システムの側面上の穴に対してこて先をゆっくり押し込み (3)、カートリッジが正しく挿入されるようにしてください。

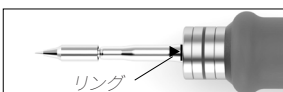
ツールの充電



ツールを充電ホルダーに置いて (4) 充電してください。ツールが正しく置かれて充電されるとビープ音が鳴ります。ディスプレイ左ボタンで音量を調整できます。

注:カートリッジは、正しく接続して動作させるために最初のリングまで差し込んでください。

*付属されず別売りです。



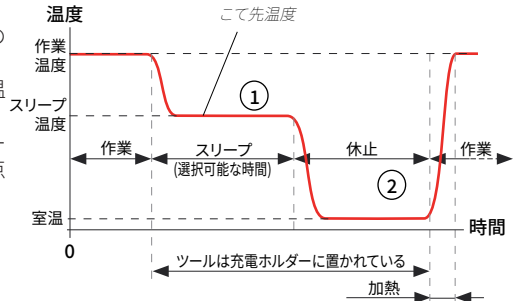
重要: ツールを初めて使用する前にフル充電してください。

満充電の所要時間:

- B.100は30分
- B.500は60分
- B.NANOは30分
- B.TWEEZERSは45分

動作

インテリジェント熱管理により、カートリッジのこて先は非常に素早く元の温度になります。これによって、デバイスの未使用時にこて先温度が下がり、こて先の耐久性が伸びます。ツールがスリープ (1) モードまたは休止 (2) モードになると、こて先温度は自動的にはんだ融点温度よりも低くなります。



ツールステータス

こて先温度

ツールは、様々な環境下で複数のステータスになることが可能です(次ページの図を参照)。ステータスに応じて、カートリッジのこて先は、以下のように異なる温度に達します。

ツールステータス	こて先温度
スリープと充電	設定されたスリープ温度まで冷却されます。70°C～150°Cの温度を選択可能。
休止と充電	室温まで冷却されます。
作業	設定された作業温度まで加熱されます。
キャップなしの休止	(5分間完全に静止した後) 室温まで冷却されます。
キャップを装着したツール	室温まで冷却されます。
休止	室温まで冷却されます。
停止	室温に保たれます (ツールは停止)

スリープと充電

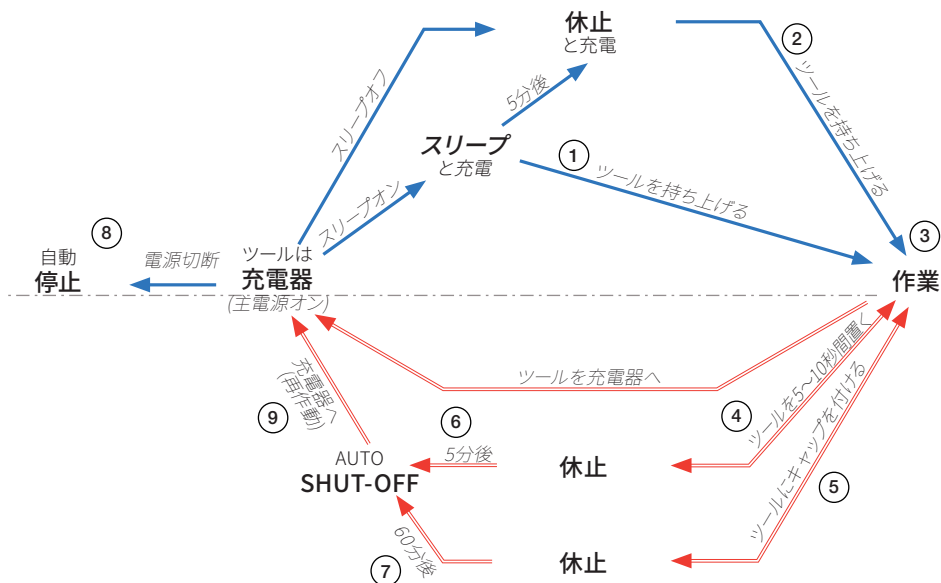
スリープモードは、作動/非作動させることができます(1)。作動させてツールを充電器に置くと、こて先はスリープ温度まで冷却され、ツールは充電され続けます。

休止と充電

スリープモードが作動せずにツールを充電器に置くと、休止になります。こて先は室温まで冷却され、ツールは充電され続けます。



ツールステータス (続き)



作業

スリープ (1) モードまたは休止 (2) モード時にツールを充電器から取り出すと、カートリッジのこて先は設定された作業温度まで加熱され、ツールはいつでも使用できるようになります (3)。

休止

ツールは、以下の場合に休止モードになります。

- a) 作業後にツールを置いて (4)、5～10秒 (時間は調整可能) 休止している場合。
- b) 作業後にツールにキャップを付けた場合 (5)。

注:ツールが休止モードになる前に、持ち上げると作業することができ、カートリッジのこて先は作業温度まで加熱されます。

自動停止

ツールは、以下の場合に自動的に停止します。

- a) ツール(ツールキャップ未装着)を置いて、休止モードで5分間完全に静止している場合 (6)。
- b) ツール(ツールキャップ装着)が休止モードで60分間完全に静止している場合 (7)。
- c) ツールが充電器に置かれ、充電スタンドが主電源オフの場合 (8)。

ツールステータス(続き)

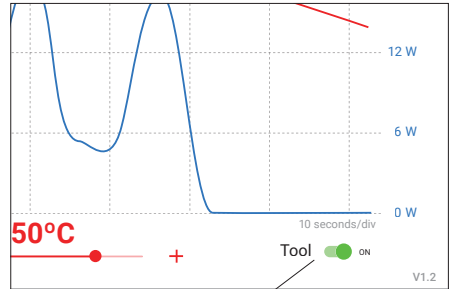
ツールの再作動

ツールが自動的に停止したら、ツールを充電ホルダー (9) に戻すと再作動します(前ページの図を参照)。

手動ツール停止

「自動停止」機能に加えて、ツールは、ディスプレイのツール電源ボタンをタップすることによって手動でオフに切り替えることもできます。ツールをオフに切り替えると、カートリッジは室温まで冷却されます。

注:ツールをオンに戻すには、ディスプレイの同じボタンをタップしてください。



ツールオン/オフボタン

安全キャップ

安全なツール運搬

ツールの安全キャップによりB.IRONツールは、カートリッジを挿入したままでも安全に持ち歩くことができます。

キャップをツールに付けると、直ちに休止モードになり、カートリッジのこて先は室温まで冷却されます。

注:キャップの目的は、安全な運搬であって保管ではありません。



安全キャップホルダー

ツールの使用時に、充電スタンドの後部にあるキャップホルダーに安全キャップを保管することができます。

キャップ用のスペースが2か所あります。



ツールの接続

充電スタンドが電源に接続されていることを確認してください。

注:ステーションに付属しているツールは、ステーションに接続されています。

別のツールのスキャンング(この工程は時間がかかります):
ツールを充電ホルダーに置いて作動させてください。
ステータスのライトバンドの色は、充電レベルを示します(下表参照)。

スキャンング工程が自動的に実行されない場合は、ツールを充電ホルダーに置いたままディスプレイの「scan」(6) をタップしてください。ディスプレイのデバイスリストにツールが表示されたら、それを選択し(11)、「connect」をタップしてください(7)。これでツールは、いつでもはんだ付けができる状態になります。

ツール検索機能:

ツールの名前に対応しているツールがどれか分からない場合は、ツール検索機能を使用してください。ツールの名前の隣にある拡大鏡記号(8)をタップしてください。対応するツールのライトバンドは、識別できるように5秒間青色に点滅します。

2つのツールでの作業(1つの充電ホルダーのみが付いた充電スタンド用の作業):

同時に2つまでツールを接続することができます。1つのツールが接続済みの場合は、最初に「Menu」(9) を選択して「Disconnect」をタップすることによってデバイスからツールを切断してください。

2つ目のツールを充電ホルダーに置いてスキャン (6) してください。ディスプレイのデバイスリストに2つ目のツール也表示されます(10)。2つのツールで作業するには、左側の列(1) から1つ、右側の列(10)からもう1つを選択してください。そして、「connect」(7)をタップしてください。



ステータスライトバンド

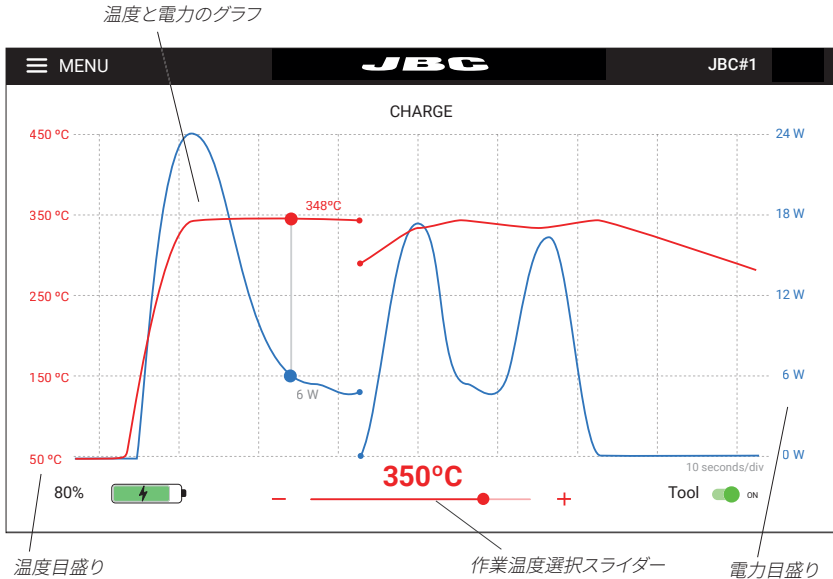
ツールのステータスライトバンドはそのステータスを示します(右表参照)。



色	ツールステータス
緑色	50%以上充電されています
オレンジ色	20%～50%充電されています
赤色	20%未満充電されています
緑色点滅	充電中 (50%以上充電されています)
オレンジ色点滅	充電中 (20%～50%充電されています)
赤色点滅	充電中 (20%未満充電されています)
無色	グリップに安全キャップがある、または電源が切られています
青色点滅	ツール検索機能が作動しています

作業画面

作業画面は、リアルタイムで更新されるこて先温度とこて先に供給される電力のグラフを表示します。これにより、ツール作業温度を変更したり、バッテリー状態を確認したり、使用中のツールをオン/オフしたりすることができます。



グラフと自動データ表示

温度と供給電力のグラフは、ツールが充電スタンドから持ち上げられるとすぐに自動的に開始されます。

グラフ表示は、グラフ領域上の画面をタップすることによって作業中に一時停止できます。自動表示が保留されている間、表示画面上の希望位置をタップすることによってグラフの特定点の温度/電力の値を確認できます。

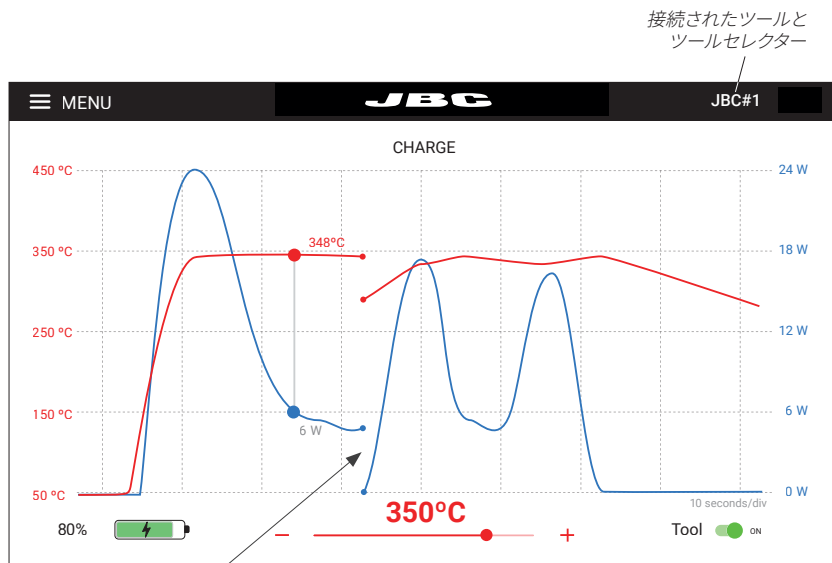
注:画面上をタップして自動表示を一時停止してもツールの加熱は停止せず、こて先は選択された作業温度のままになります。グラフ表示は、5秒後に自動的に続行します。

グラフは、タッチスクリーンを1本の指で横にスワイプすることによって左右に移動できます。

作業温度の変更

作業温度は、グラフの下のスライダーで変更できます ($\pm 5^{\circ}\text{C}$ / $\pm 10^{\circ}\text{F}$)。

作業画面(続き)



ツールが使用中でない場合
グラフは記録を停止します

データ表示の停止

ツールが充電ホルダーに置かれたり、休止モードになったりした場合、データ表示は停止します。

ツールがツールホルダーから持ち上げられる则表示は自動的に再開し、前の表示が停止した点から自動的に再表示され、最後に登録された値と新しい開始点の間に小さい間隔がとられます。

2つのツールでの作業

2つのツールで作業する場合、2つのグラフを切り替えるには、ツールセクター(ディスプレイの右上隅)をタップし、ドロップダウンメニューから希望ツールを選択してください。

単にツールホルダーから一方のツールや他方のツールを持ち上げることによって両グラフを交互に表示することもできます。ディスプレイは自動的に、使用中のツールについてのグラフと情報を表示します。

注:すべてのメニュー項目は、「メニュー」セクションで詳細に説明されています。

メニュー

ツール接続済み：

少なくとも1つのツールが接続されると、メニューが拡張してより多くのオプションが表示されます。

≡ MENU
Work
Settings
Counters
Update
Locate Tool
Documents
Light Theme
Dark Theme
Disconnect

ツール接続なし：

ステーションにツールが接続される前、またはツールが切断された後には、メニューにはこのようなオプションが表示されます。

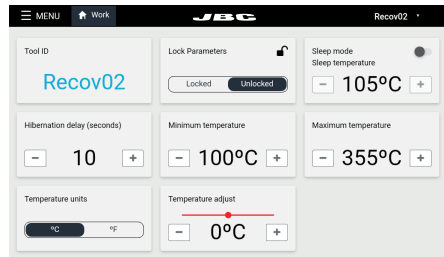
≡ MENU
Devices
Documents
Light Theme
Dark Theme

Work 作業：

作業画面に進みます（「作業画面」セクションを参照）。

Settings 設定：

B.IRONアプリは直感的なユーザーインターフェースを備えており、これにより複数のステーションパラメータに素早くアクセスすることができます（次ページ参照）。



Counters カウンター：

カウンターセクションでは、ユーザーは充電のデータと回数、作業状態の時間、スリープモードの時間、エラーなどを調べることができます。このデータは、時間または特定の事象が発生した回数で調べることができます。

Update 更新：

はんだ付けステーションのファームウェアを更新することができます。更新プロセスについての詳細は、「ファームウェアの更新」セクションを参照してください。

Locate Tool ツール検索：

ツールの名前に対応しているツールがどれか分からない場合は、ツール検索機能を使用、「Locate Tool」をタップしてください。対応するツールのライトバンドは、識別できるように5秒間青色に点滅します。

Documents 資料：

ステーションまたはツールに関連する取扱説明書は、本セクションまたはJBCのウェブサイト www.jbctools.co.jp で参照できます。

Light/Dark Theme 明暗モード：

ユーザーは、暗表示モードと明表示モードを切り替えることができます。

Disconnect 切断：

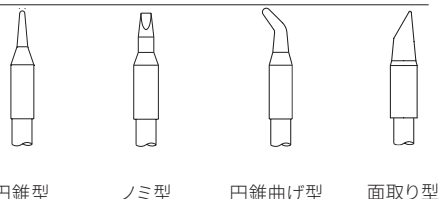
使用中のツールを切断します。1つのツールしか接続されていない場合は、切断後にアプリはデバイスリスト表示に戻ります。

設定

パラメータ	内容
Tool ID ツールID	ツール識別名を変更できます。
Lock parameters パラメータをロック	4桁コードでステーションのパラメータをロックできます。デフォルトコードは0105ですが、パラメータをロックするときに他の4桁の選択コードを入力するだけで新しいコードを設定できます。
Sleep Mode / Sleep temperature スリープモード/ スリープ温度	スリープモードのオン/オフを設定します。ツールホルダーに置かれると、こて先温度は選択されたスリープ温度まで下がります。
Hibernation delay 休止遅延	休止遅延時間を5～15秒に設定します。ツールが非アクティブ(非動作)のままである場合にカウントダウンが開始します。
Minimum temperature 最低温度	選択可能な最低作業温度を設定します。
Maximum temperature 最高温度	選択可能な最高作業温度を設定します。
Temperature units 温度単位	温度測定単位のセ氏温度とカ氏温度を切り替ええます。

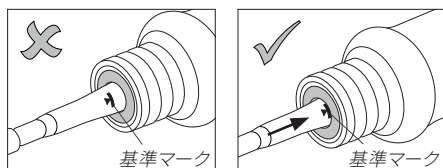
互換性があるカートリッジ

B.500グリップではC210カートリッジを使用します。お客様のはんだ付けニーズに最も合うモデルを www.jbctools.com で見つけてください。



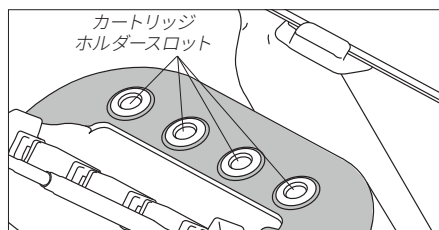
C210カートリッジの挿入

カートリッジをグリップ内部に押し込み、基準マークをグリップの端部に合わせるようにします。



C210カートリッジホルダー

カートリッジホルダー (4スロット) は、カートリッジを収納するために使用されます。これにより、異なるカートリッジがすぐ使えるようになり、C210カートリッジが使用されます。

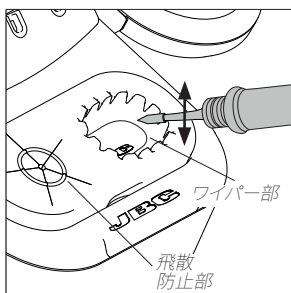


ワイパーとこて先クリーナー

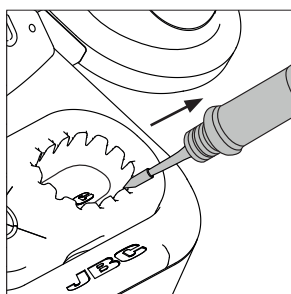
お客様のニーズに最適なこて先クリーニングオプションを選択し、こて先の熱伝導を向上させてください。

B.IRON充電スタンドの**CL0301**ワイパーは、はんだ粒子が作業場に飛び散らないようにして作業場を清潔に保つ飛散防止部を備えています。

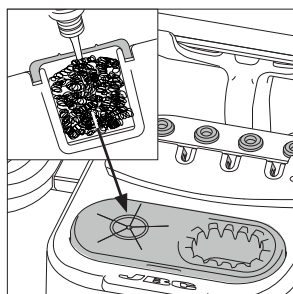
また、カートリッジのこて先を軽くたたいたり拭き取ったりすることによって余分のはんだを除去するための耐熱ワイパー部も備えています。



軽くたたいて余分のはんだを除去します。



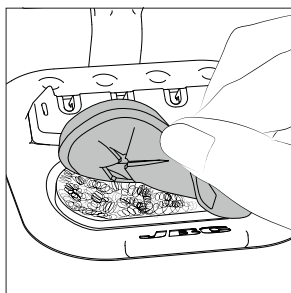
溝を利用して残存粒子を除去します。



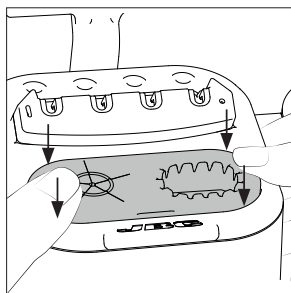
CL0300 真鍮タワシは、非常に効果的なクリーニング方法です。これは、こて先上にはんだの小さい層を残すことによってクリーニングと再湿潤の間の酸化を防止します。

注:こて先が非常に汚れている場合JBCは、最初にワイパーで余分のはんだを除去した後、真鍮タワシでクリーニングすることをお勧めします。

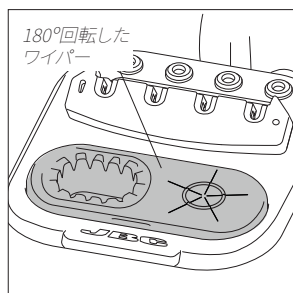
真鍮タワシの交換



端部のくぼみを利用してワイパーメンブレンを持ち上げます。ワイパーラバーを取り外し、真鍮タワシを新品と交換します。真鍮タワシが左端にあること、および右側にワイパーのスペースがあることを確認します。



ワイパーラバーの4隅を、所定の位置でカチッと鳴るまで押し下げます。ワイパーラバーが最後まで正しく挿入されていることを確認します。



注:真鍮タワシとワイパーの位置は、飛散防止メンブレンを180°回転することによって逆にすることができます。

JBCソフトウェア

新しく購入したJBC製品の場合は、インストールや初期ダウンロードは不要です。JBCのディスプレイとツールは共に最新の更新済みソフトウェア/ファームウェアがインストールされており、すぐに使える状態にあります。

注:

アプリ:手持ちのディスプレイ(タブレットやスマートフォン)を使用する場合は、JBCのウェブページからB・IRONアプリをダウンロードし、デバイスにインストールする必要があります。

ファームウェア:ツールのファームウェアは自動的に更新されませんので、ユーザーが手動で更新する必要があります。これを行うには、次ページの指示に従ってください。

アプリのバージョン

ディスプレイ(タブレットやスマートフォン)に以下の必要なバージョンのアプリがインストールされていることを確認してください。

- グリップにはバージョン**1.6**以上のアプリが必要です。
- ピンセットにはバージョン**1.7**以上のアプリが必要です。

アプリのインストール

JBCのデバイス型ディスプレイ(Android)には、B・IRONアプリがインストール済みです。

ユーザーのスマートフォンやタブレット(Android / iOS)の場合は、App Store/Play Storeに進み、検索バーで「JBC B.IRON」を検索してください。

注:アプリをダウンロードするにはインターネット接続が必要です。

または、以下のQRコードをスキャンしてB・IRONアプリページに直接アクセスしてください。



アプリの更新

インターネット接続を使用したディスプレイ(Android / iOS)

Google Play (Android)またはApp Store (iOS)を通してアプリを更新してください。

インターネット接続を使用しないディスプレイ(Android)

JBCのウェブサイト: <https://www.jbctools.com/jbcsoftware.html> からJBCのインストーラープログラムを別のデバイスにダウンロードしてください。



次にダウンロードされたプログラムを、B・IRONで 사용되는ディスプレイの内部記憶装置にコピーしてください。ディスプレイの内部記憶装置にアクセスし、ダウンロードされたプログラムを実行してください。プログラムが終了すると、アプリは最新バージョンに更新されます。

注:JBCディスプレイの場合は、下にスワイプすると内部記憶装置フォルダーが開きます。

ツールファームウェア更新ファイルのダウンロード

インターネット接続を使用したディスプレイ：

ファームウェア更新ファイルを、<https://www.jbctools.com/jbcsoftware.html> からB.IRONで使用されるディスプレイにダウンロードしてください。インターネットフォルダーに進み、ダウンロードされたファイルを解凍してください。

インターネット接続を使用しないディスプレイ：

ファームウェア更新ファイルを、JBCのウェブサイト：<https://www.jbctools.com/jbcsoftware.html> からインターネット接続の別のデバイスにダウンロードし、ダウンロードされたファイルを解凍してください。

次に、表に記載されている通りに行ってください。

PDS JBCのディスプレイ(android)	他のandroidデバイス	iOSデバイス
解凍されたファイルを、B.IRONで使用されるデバイスにコピーしてください。		
フォルダー：	フォルダー：	パス：
\Internal shared storage\Android\data\ es.infinitysource.jbc_ soldering.JBCBiron\files	\Internal shared storage\ Android\data\com. jbctools.jbcbiron\files	Files > On my iPad > JBC B.iron 

ツールファームウェア更新ファイルの実行

ツールファームウェア更新ファイルは自動的に実行されないため、ユーザーが実行する必要があります。

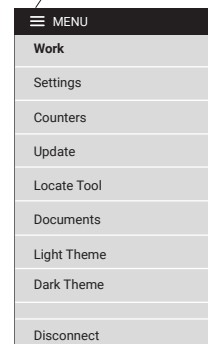
B.IRONを使用している、かつ最新バージョンのアプリがインストールされているディスプレイで、次のB.IRONアプリにアクセスしてください。



更新したいツールを選択してください。次にメインメニューで「update」を選択してください。

注:拡張されたメニューオプションを見るには、少なくとも1つのツールを接続する必要があります。

拡張されたメニュー
オプションを持つ
メインメニュー



ツールファームウェア更新ファイルの実行(続き)

ダウンロードされたツールファームウェア更新ファイルに、インストール済みのものよりも新しいものが入っている場合は、現バージョンと新バージョンが表示されます (1)。「Update」をタップして更新を開始してください (2)。

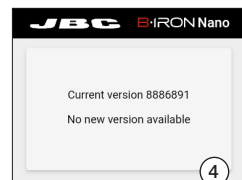
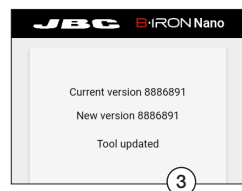
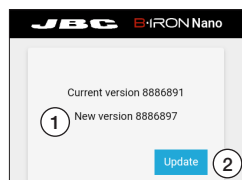
更新プロセスは約10分かかります。

注:ファームウェア更新が中断した場合、アプリは自動的にこれを認識し、新しい更新プロセスを開始します。ディスプレイの左上隅に「Device needs recovery」が表示されます。ポップアップウィンドウの「Update」ボタン (2) を押してファームウェア更新を続行してください。

B.IRONステータスライトは、更新プロセス中に色を変え続けます。

更新が終了すると、「Tool updated」(3) が表示されます。

「No new version available」が表示される場合 (4) は、更新が不可または不要です。



付属品

B.IRONディスプレイホルダー10-13インチ

Ref. 0031246



B.IRONステーションに同梱されているディスプレイホルダーに加えて、JBCは、10-13インチのサイズのタブレット用のホルダーを用意しています。

付属品^(続き)

B.IRONステーションのはんだ付けツール

B.NANO*

B.IRON用ナノグリップ



人間工学に基づく軽量なはんだ付けグリップ。研究室や到達しづらい場所での高精度なはんだ付けで使用するために設計されています。

C115カートリッジを使用。

B.TWEEZERS*

B.IRON用ナノピンセット



強力かつ効率的なはんだ付けピンセット。研究室やはんだ付け・リワーク作業で使用するために設計されています。

C115カートリッジを使用。

B.100*

B.IRON用ライトグリップ



人間工学に基づく軽量なはんだ付けグリップ。研究室や各はんだ付け作業で使用するために設計されています。

C210カートリッジを使用。

B.500*

B.IRON用グリップ



強力かつ効率的なはんだ付けグリップ。製造や連続的なはんだ付け作業で使用するために設計されています。

C210カートリッジを使用。

*カートリッジは別売。
ツールを充電するには、B.IRON充電スタンドまたはステーションが必要です。
必要なアプリバージョン：グリップは1.6以上、ピンセットは1.7以上。

付属品 (続き)

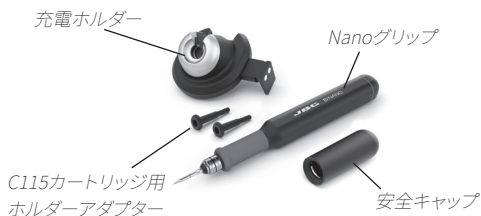
B.IRONステーションのツール拡張キット

B.NANO K*

Nanoグリップ拡張キット

このキットでは、B.NANOグリップによりB.IRONステーションを拡張することができます。

C115カートリッジを使用。



B.TWEEZERS K*

Nanoピンセット拡張キット

このキットでは、B.TWEEZERSを追加することによってB.IRONステーションをリワークステーションにアップグレードすることができます。

C115カートリッジを使用。



B.100 K*

軽量グリップ拡張キット

このキットでは、B.100 Light HandleによりB.IRONステーションを拡張することができます。

C210カートリッジを使用。



B.500 K*

グリップ拡張キット

このキットでは、B.500 HandleによりB.IRONステーションを拡張することができます。

C210カートリッジを使用。



*カートリッジは別売。

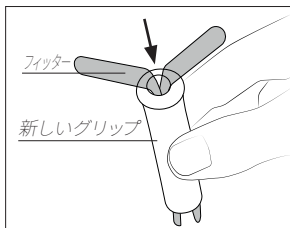
ツールを充電するには、B.IRON充電スタンドまたはステーションが必要です。

必要なアプリバージョン：グリップは1.6以上、ピンセットは1.7以上。

メンテナンス - B.IRONグリップ

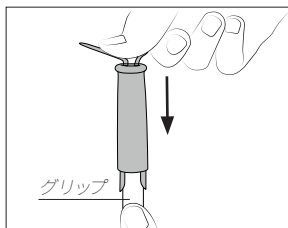
ソフトフォームグリップの交換 - B1510には4個のグリップが付属

フィッターの挿入



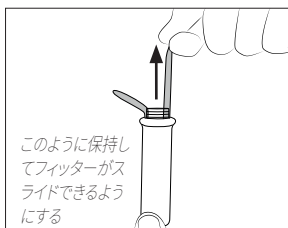
フィッターを新しいグリップに挿入します。

グリップの組付け



グリップをフィッターでハンドルに押し込みます。

フィッターの取出し



フィッターを取り外すには、グリップを保持してフィッターを引き出します。必要な場合はプ

シール栓

シール栓は望ましくないフラックスの蒸気や粒子がグリップに侵入するのを防止するため、その使用を強くお勧めします。シール栓が使用されない場合、カートリッジの接触不良を引き起こしたり、ツールが使用不能になったりする可能性があります。

注:定期的な栓の状態を確認し、摩耗や亀裂が見つかったら直ちに交換してください。

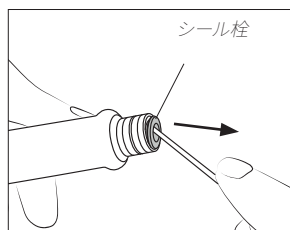
グリップ	シール栓Ref.
B.NANO	OB5000*
B.100 and B.500	OB4000*

*各ref. には10個のシール栓が付属

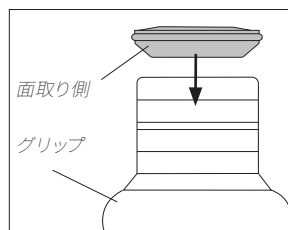


シール栓を交換する前に、ステーションからグリップを切断し、デバイスが冷却されていることを確認してください。

B.100およびB.500グリップ用のシール栓の交換 - OB4000には10個のシール栓が付属

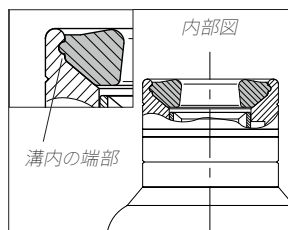


小型のシャフトまたはドライバを8mm以内の深さまで挿入し、シール栓を持ち上げて抜きます。この作業にカートリッジを決して使用しないでください。



シール栓をグリップ内に押し込みます。

注:シール栓の面取り側をグリップに向ける必要があります。



シール栓が正しく取り付けられていることを確認します。

シール栓の端部をツールブッシングの溝に配置する必要があります。

メンテナンス - ステーションとツール

メンテナンスを行う前に、必ずツールからカートリッジを取出し、充電スタンドの電源を切ってください。装置が冷却されるまで待ちます。

- 湿った布で本体とツールを拭きます。アルコールは金属部分以外には使用しないでください。
- 充電が正常に行われるように、ツールと充電スタンドの金属部分に汚れがないことを定期的を確認します。
- こて先が酸化しないように、こて先表面はきれいにしてはんだを乗せておきます。表面がざらざらしていたり、埃がついていたりすると、はんだ接合への熱伝達の妨げになります。
- アルコール、シンナー、またはベンゼンなどの液体でデバイス型ディスプレイを清掃しないでください。
- 修理を行えるのは、JBC認定のテクニカルサービス担当者のみです。

定期的に接触面を清掃し、ツールが正常に充電されるようにしてください。



安全に関する注意事項 - バッテリー



感電、けが、火事、爆発を避けるため、必ず安全に関するガイドラインに従ってください。

- **注意:**本製品にはリチウムイオン電池が含まれています。誤った取り扱いや不適切な使用は、火災、爆発、人身事故の原因となります。
- 必ず付属の充電器を使用してください。破損した充電器やバッテリーは使用しないでください。
- 電池や製品を分解したり、改造したりしないでください。感電、火災、製品破損の原因となります。
- 電池の破損、液漏れ、過熱が発生した場合は、直ちに使用を中止し、カスタマーサポートまたはJBCテクニカルサービスまでご連絡ください。
- 電池を内蔵した機器は、法規に従って責任を持って廃棄してください。電池をリサイクルできるように、地域の規則に従って廃棄してください。
- 電池の入った機器を家庭ゴミとして捨てたり、火や水の中に捨てたりしないでください。

安全に関する注意事項



感電、けが、火事、爆発を避けるため、必ず安全に関するガイドラインに従ってください。

- はんだ付けやリワーク以外の目的で、ユニットを使用しないでください。不適切な使用により、火事が発生する恐れがあります。
- 電源コードは、適切なコンセントに差し込んでください。コードを抜く場合は、ワイヤーではなくプラグを持ってください。
- 損傷する可能性があるため、ツール本体を分解したり開いたりしないでください。
- 通電中部品作業は行わないでください。
- ツールを使用しない場合は充電ホルダーに置いてバッテリーが充電されるようにしてください。
- ステーションの電源を切った後でも、こて先、ツールの金属部分、充電ホルダーが熱い場合があります。
- ツールの電源を入れたままで、その場を離れることのないようにしてください。
- 炎症を避けるため、フラックスに直接触れず、目に入らないようにしてください。
- はんだ付けを行う際、煙に気をつけてください。
- 作業場を清潔にし、整理整頓してください。作業する際は、適切な保護メガネや防護手袋を着用しけがをしないようにしてください。
- 廃棄する液体スズの取扱いには十分気を付けてください。やけどをする恐れがあります。
- 本機器は、8歳以上の子供や、身体的、感覚的、精神的能力の低い人、経験のない人でも、機器の使用に関して適切な監督や指示を受け、それに伴う危険性を理解していれば使用できます。子供が本機で遊ばないように注意してください。
- 監督下でない場合は、子供がメンテナンスを行わないでください。
- デバイス型ディスプレイを高温、多湿、塵埃にさらさないでください。直射日光を避けてください。
- デバイス型ディスプレイやツールを落とすと破損や故障の原因となりますので、ご注意ください。
- ファイル転送モード中は、デバイスの接続を解除しないでください。
- 無線通信が制限されている場所では、デバイス型ディスプレイを使用しないでください。

メモ

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

メモ

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

メモ

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

仕様

B.IRON 500

バッテリー型デュアルはんだ付けステーション

Ref. **BISS-9B** - デバイス型ディスプレイ付き

Ref. **BISS-9QB** - デバイス型ディスプレイなし

充電スタンド

- 入力:	100 V 50/60 Hz
- 公称電力:	70 VA
- ツール出力:	12 V / 1500 mA
- USB出力:	5 V / 1000 mA

B.500グリップ

- 最大電力 (ツール):	24 W
- バッテリー:	Li-Ion 7.4 V / 750 mAh
- 充電時間:	60分
- 選択可能温度:	100 - 450°C
- 動作停止時温度安定性 (静止空気):	±1.5°C
- 温度精度:	±3 % (基準カートリッジ使用)
- 接続性:	Bluetooth Low Energy (BLE)
- 使用周囲温度:	10 - 50°C
- ツール重量:	70 g

デバイス型ディスプレイ 7インチ

- ディスプレイ寸法:	7インチ
-------------	------

Ref. **BISS-9A** デバイス型ディスプレイ付き:

- 合計正味重量:	2.13 kg
- 合計梱包寸法/重量: (L x W x H)	265 x 223 x 160 mm / 2.74

Ref. **BISS-9QA** デバイス型ディスプレイなし:

- 合計正味重量:	1.68 kg
- 合計梱包寸法/重量: (L x W x H)	225 x 223 x 160 mm / 2.25 kg

CE規格に準拠。

ESD対応 (ESD要件の準拠は4ページを参照)。



保証

JBC は、この装置の製造欠陥に対する保証を 2 年間提供します。部品・作業代金無償で欠陥部品の交換を行います。

製品の摩耗または誤用は、保証の対象外です。

保証を受けるには、装置を購入した代理店または JBC に返品する必要があります (お客様ご負担)。

www.jbctools.com/productregistration から登録を行うと、JBC の保証を 1 年延長することができます。登録期間は、購入から 30 日以内です。



本製品は、通常のごみとして廃棄することはできません。

欧州指令 2012/19/EU に従って、寿命に達した電気装置の回収を行い、認定を受けたりサイクル施設に引き取ってもらう必要があります。

